

校区で育てる

第4号

平成30年3月

芳泉中学校区地域

協働学校連合編集部

「地域協働学校学校運営協議会で今年度の学校自己評価結果と来年度の教育の重点などが報告・協議されました」

平成二十九年度の学校教育活動を学校が自己評価するために行った「教育に関する総合調査」の結果などを基礎資料として、3学期には各学校園において学校自己評価を作成します。その結果については、学校だよりや学校ホームページ等を通じて保護者等に公表されるとともに、年度の最終の学校運営協議会で地域住民代表委員や保護者代表委員の方から意見をいただき、その意見を踏まえて、次年度の学校教育計画や教育課程の編成が行われるという流れになっています。

この一連の流れの中で、学校運営協議会の権限は非常に大きく、学校長が岡山市教育委員会に提出する次年度の学校教育計画（教育課程を含む）は、事前に学校運営協議会での「承認」を受けることとされています。

つまり、地域協働学校とは、地域や保護者の代表が、学校（園）が自ら行った学校評価の結果について、その妥当性や客観性を判断し、次年度の学校教育の方針が生徒の実態に



芳泉中学校ダンス部の演舞（すこやかフェスタより）

芳泉中学校の第二回学校運営協議会は、一月二十九日に開催されました。そこでは、「教育に関する総合調査」におい

照らして適切なものであるかどうかの意見を述べる仕組みを持った組織体なのです。今回は、芳泉中学校区の各公立学校園における最終の「学校運営協議会」の様子を各学校園の学校運営協議会代表者が集まって情報交換を行った「地域協働学校連絡会」の内容を中心にお伝えしていきたいと思ひます。

落ち着いた教育環境や学力の実現状況が報告された中学校

地域での教育機会をさらに活用することをめざして、「指導の重点」を一部修正



芳泉中学校吹奏楽部の演奏の様子（すこやかフェスタより）

これに対して、委員の方から、生徒調査の「家で苦手な教科の勉強をしている」の項目について本校の肯定的な回答が岡山市平均よりも4.8ポイントも高いこと、「自分で計画を立てて勉強している」の項目では肯定的回答が岡山市平均よりも5.1ポイントも高いことに注目すべきではないかという意見が出され、続いて「チャレンジ芳泉ノート」などで生徒自らが自分の学習計画を立てるような指導が行われていることが効果を上げているのではないかと協議が行われました。

「地域の行事へ役割を持って参加している。」という生徒調査の項目については、肯定的回答が40.4%で、今回も岡山市平均を下回っていました。（▲3.4ポイント）



芳泉小生徒たちが中心となる地域和太鼓クラブの発表（すこやかフェスタから）

また、調査結果から読み取ることができるとする学力に関する教育課題として、家庭での学習習慣を形成していくことや、家庭でのメディア・コントロール

平成29年度 教育に関する総合調査結果 岡山市立芳泉中学校

芳泉中独自項目 保護者質問 肯定的な回答の割合(%)

質問文	平成28年度	平成29年度
16 学校の雰囲気は良く、子どもたちは楽しく学校生活を送っている。	88.2	92.4
17 学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を進めようと努力している。	84.6	88.6
18 学校は、保護者や地域の人が授業や学校行事を参観する機会をよく設けている。	90.5	92.6
19 学校の授業は充実していて、子どもたちにとって分かりやすく、工夫した指導が行われている。	72.6	81.2
20 学校行事（体育会・宿泊研修等）は充実して、内容も適切である。	89.6	92.6
21 部活動は活発に行われており、充実している。	86.0	87.2
22 学校は、家庭学習の手立てについて、わかりやすくアドバイスしている。	62.3	69.5
23 お子さまは、家庭学習を計画的におこなっている。	49.4	54.5
24 お子さまは、テレビやビデオを見たり、ゲームや携帯電話の使用時間を決めて生活している。	41.0	41.4
25 教職員は、一人一人の生徒を大切にされた対応をしている。	80.8	85.3
26 教職員は、保護者に対して誠意をもった対応をしたり、相談に応じたりしている。	85.7	89.9

このことについては、「実際には子どもたちは地域の活動に調査結果の数値以上に参加しているのではないかと。子どもは自分が参加している活動が「地域の行事」として質問紙の回答対象になることを意識せずして答えているので肯定的な数値として表れていないのではないかと。」という意見が委員の方から出されました。

学校の一方で、指導の重点の一つを従来の「集団の一員としての育成」から「地域社会や学校集団の一員としての望ましい態度や実践力の実践力の育成」と一部変更して、より積極的な地域活動への参加を促し、地域の教育力を貸してもらおう方向で取り組む方針であること

その一方で、「教員の働き方改革」の流れを受けて、地域と学校の連携活動の際の学校の事務局的業務負担をいかに地域が担っていくかということも議論になりました。このときに最も先進的で持続可能なモデルとして例示されたのが青江新田地区運動会の動員システムで、地域のPTA町代表の方々のご尽力もあって、地区の子どもの参加への呼びかけを含むすべての事務局業務が地域の方々によって行われているというものでした。

このことについては、「実際には子どもたちは地域の活動に調査結果の数値以上に参加しているのではないかと。子どもは自分が参加している活動が「地域の行事」として質問紙の回答対象になることを意識せずして答えているので肯定的な数値として表れていないのではないかと。」という意見が委員の方から出されました。

学校の一方で、指導の重点の一つを従来の「集団の一員としての育成」から「地域社会や学校集団の一員としての望ましい態度や実践力の実践力の育成」と一部変更して、より積極的な地域活動への参加を促し、地域の教育力を貸してもらおう方向で取り組む方針であること

その一方で、「教員の働き方改革」の流れを受けて、地域と学校の連携活動の際の学校の事務局的業務負担をいかに地域が担っていくかということも議論になりました。このときに最も先進的で持続可能なモデルとして例示されたのが青江新田地区運動会の動員システムで、地域のPTA町代表の方々のご尽力もあって、地区の子どもの参加への呼びかけを含むすべての事務局業務が地域の方々によって行われているというものでした。

地域の活動への関わり在り方などが協議された芳泉小学校

まず保護者が率先して地域行事へ参加する姿勢を見せること

芳泉小・芳泉小学校の学校運営協議会では、この一年間の芳泉小学校における取組の成果と課題について説明を行い、それらに基づいて作成された三十年度の教育課程の原案について審議しました。

その中で話題となったのは、学校評価の結果にも表れていた地域への関わり方の低さでした。協議の中では、「地域行事があってもまず保護者が参加しないし、参加してもうまくコミュニケーションがとれない場面がよく見受けられる。これではそれを見ている子どもも育たない。まずは保護者や大人が子どもの手本となる姿勢を見せ、率先して地域とのつながりを深め、自分たちが住んでいる地域に愛着が持てるようにしていかなければならない。」という意見や、「この課題は芳泉小学校に限ったことではなく全国的な課題でもあるので、もっと大きな枠組みの中で、より意識して取り組んでいく必要がある。」という意見などが出されました。

その他にも、「芳泉小学校は大規模校であるが、学校通信やホーム

ページなどでごまめに学校の情報を発信したり、大勢の子どもたちを丁寧育てたりしていることに頭が下がる。先生方の負担も大変なので、減らせる部分はしっかり減らし、取捨選択した取組を継続して行ってもらいたい。」という意見や「子どもたちの安全面という点から、ヘルメット着用を呼びかけているが、少し着用率が下がっている」と不安を感じる。今後もPTAが主体となって、しっかりと呼びかけを行い、100%の着用をめざしてもらいたい。」という意見が出されました。

自分なりに考える子どもを育てる教育が話題になった芳泉幼稚園 あいさつができる子どもを育てる家庭教育についても言及

芳泉幼…芳泉幼稚園の第二回学校運営協議会は二月二十六日に開催されました。協議会では、まず、今年度の教育の成果と課題について、保護者アンケートの結果等を踏まえながら説明を行いました。

アンケートによると、「幼稚園に喜んで通っている」という項目の肯定的回答の割合は98%で、ほぼ全員の園児が喜んで通園していることを嬉しく思いました。また、今年度の指導の重点である「心動かされる体験を積み重ねる中で、自分なりに考える力を育てる」にかか

る取組の成果を反映する「幼児の育ち等が見られるか」の項目でも保護者の方々に高い評価をいただきました。

幼稚園からの説明



伝統遊びの様子 (芳泉幼稚園)

「心動かされる体験を積み重ねる中で、自分なりに考える力を育てる」にかかるとともに、地域、家庭、園で手を取り合っ

て、それぞれができる役割を發揮しながら来年度も教職員全員で頑張っていきたいと思っています。

今年度の取組による成果を生かしていくとともに、地域、家庭、園で手を取り合っ

て、それぞれができる役割を發揮しながら来年度も教職員全員で頑張っていきたいと思っています。

今年度の評価結果に甘んじることなく、来年度に向け教職員全員で、課題解決に向けて頑張っていきたいと考えています。



編集後記

校区の学校園と地域をつなぐ今年度の地域協働学校だよりは今回が最終号です。校区の育成にかかわる関係者の皆さん、年間本当にありがとうございました。

の中では、「やってみよう！」と園児の心を揺さぶる活動を工夫したり、心を動かす活動を積み重ねることで、意欲や自信を持ち自分なりに考える力が付いてきたことも報告させていただきました。

委員の方々は、「保護者が幼稚園の取組や子どもの育ち等を理解できるように、写真入りのクラスだよりやスライドなどを使って分かりやすく説明されていることはとてもよい。」「幼稚園での日々の活動が幼児にとって力になっている。」などと、幼稚園での教育を評価していただきました。さらに、「保護者でさえも知らなくなっている日本の伝統文化を幼稚園からの通信等で情報発信していることはとてもよい。」というお言葉もいただきました。

幼稚園から課題として提示させていただいたのは、「自分が地域の方にあいさつをしている」「テレビを見たり、ゲームをしたり、スマートフォンにかかわったりするときにルールや約束を決めている」「登降園時に通園路を歩いてくるように心がけている」という項目に関することについてでした。

それに関しては、「あいさつは家庭が基本。家族の中であいさつを互いに返すことができるようにしていくことが大切だ。」「ルールを守ることは社会に出たときにとっても大切なことである。」というような意見が交わされました。

今年度の教育に関する総合調査の結果については、ほとんどの項目で肯定的回答の割合が岡山市の平均を上回っていました。例えば、「進んで助ける」「学校へ行くのが楽しい」「授業が分かりやすく楽しい」「地域行事へ参加している」等の質問項目において、市平均を4〜6ポイント上回る結果が見られました。

また、保護者を対象としたものでは、「学力が伸びている」「教育活動の様子や情報を伝えている」という質問項目で肯定的な評価が岡山市平均を5〜6ポイント上回っていました。

さらに、全国学力・学習状況調査の質問紙の分析による浦安小の特徴として、「自分にはよいところがある」という自尊心に関係する項目でのポイントが非常に高い

ことが報告されました。これらの発表を受けて、出席された委員の方からは、「中学校では浦安小学校の出身者は少人数ではあるが、たくましさを発揮できている。それらは、自尊心が高い」と関係があると思う。」という意見をいただきました。このほかにも、「PTA三校合同講演会は、成功であったと思う。」「PTA活動でキッズニア(お仕事体験)のような親子ともども楽しめるような活動を公民館や地域と協力して模索していきたい。」「通学路を中心とした防犯カメラ35基が作動しており、子どもたちの安全・安心を守る取組を地域と学校が連携しながら一層進めていくことが大切である。」などの意見が出されました。

自尊心がしっかり育っている様子が報告された浦安小学校 お仕事体験などの新たな取組についても話題に

浦安小…浦安小学校の第二回学校運営協議会は、平成三十年二月二十二日に開催されました。開会にあたり、岡田校長からのあいさつの中で、岡山県「ぼっち

り！モグモグ」生活リズム向上優良活動」の表彰を受けたことが紹介され、その後、今年度の教育活動の報告と来年度の教育課程について協議が行われました。

今年度の教育に関する総合調査の結果については、ほとんどの項目で肯定的回答の割合が岡山市の平均を上回っていました。例えば、「進んで助ける」「学校へ行くのが楽しい」「授業が分かりやすく楽しい」「地域行事へ参加している」等の質問項目において、市平均を4〜6ポイント上回る結果が見られました。

また、保護者を対象としたものでは、「学力が伸びている」「教育活動の様子や情報を伝えている」という質問項目で肯定的な評価が岡山市平均を5〜6ポイント上回っていました。



浦安小学校金管バンドの演奏の様子 (すこやかフェスタより)

今年度の教育に関する総合調査の結果については、ほとんどの項目で肯定的回答の割合が岡山市の平均を上回っていました。例えば、「進んで助ける」「学校へ行くのが楽しい」「授業が分かりやすく楽しい」「地域行事へ参加している」等の質問項目において、市平均を4〜6ポイント上回る結果が見られました。

また、保護者を対象としたものでは、「学力が伸びている」「教育活動の様子や情報を伝えている」という質問項目で肯定的な評価が岡山市平均を5〜6ポイント上回っていました。

さらに、全国学力・学習状況調査の質問紙の分析による浦安小の特徴として、「自分にはよいところがある」という自尊心に関係する項目でのポイントが非常に高いことが報告されました。

平成29年度 教育に関する総合調査結果

浦安幼稚園独自項目		平成28年度	平成29年度
16	子どもは、喜んで幼稚園に通園している。	97.4	100.0
17	子どもは、日常生活の中で必要なあいさつ(おはよう・ありがとう・ごめんなど)をするようになってきている。	100.0	97.1
18	子どもは、自分の思いや考えを言葉で伝える力が身に付いている。(4歳児・5歳児の言葉で、言葉・指事に分かるように)	93.5	95.6
19	子どもは、友達や先生の話を聴き取って聞くようになってきている。	85.7	97.1
20	子どもは、遊びの約束や集団生活での決まり、家庭での約束を守るようになってきている。	90.9	97.1
21	幼稚園は、遊びを中心とした体験的な活動を工夫している。	97.4	98.5
22	職員は、一人一人を大切に指導をしている。	92.2	95.6
23	幼稚園は、お父さんのことについて相談ができる体制がある。	93.5	97.1
24	家庭では、子どもの顔を見ながら話を聞くようになっている。	93.5	94.1
25	家庭では、テレビやゲームの時間を決めて守っている。	71.4	85.3

総合調査については、全体的に昨年度より肯定的な評価の値が高くなっていましたが、特に、幼稚園独自項目No.16の「子どもは、喜んで幼稚園に通園している。」「保護者の肯定的な回答が100%であったことは、全教職員にとって大変嬉しい結果でした。」

逆質問No.25「家庭では、テレビやゲームの時間を決めて守るようになっている。」という結果は、教職員にとっても大変嬉しい結果です。

逆質問No.25「家庭では、テレビやゲームの時間を決めて守るようになっている。」という結果は、教職員にとっても大変嬉しい結果です。

逆質問No.25「家庭では、テレビやゲームの時間を決めて守るようになっている。」という結果は、教職員にとっても大変嬉しい結果です。

逆質問No.25「家庭では、テレビやゲームの時間を決めて守るようになっている。」という結果は、教職員にとっても大変嬉しい結果です。